

受入先	南九州市観光協会
役職	
隊員氏名	青木健太郎
着任日	令和 3 年 1 月 1 日

活動月	令和 3 年 11 月（着任 11 カ月目）
主な活動	観光協会での情報発信

1. そのだ農園でみかん狩り・レモネードシロップづくりをしました

観光協会の会員さんである、そのだ農園さん（川辺）を訪れ、みかん狩りの体験に行ってきました。川辺を走る県道沿いに「みかん狩り」の看板があり、前々から気になっていた箇所です。

体験料（園内での試食）200 円、持ち帰りをする際の袋代が 1,200 円～とリーズナブルな価格で体験を楽しむことができます。

地元に住む方や高齢の方からすればごく当たり前の光景かもしれないみかんの木が連なっている光景ですが、都市部に暮らす人々からすればその景色は珍しく、またみかん狩りは“テレビの中で見るコンテンツ”に留まっているものです。私達のようなスマホで物を調べ・行動を起こす世代にこそ、この素朴さは求められているように感じられました。

オーナーの園田さんもそのニーズは感じておられ、まずは環境整備・適正な価格を設定のうえ PR に繋げていきたいと仰っていました。

またメインコンテンツであるみかんの隣にひっそりと、農薬を使わずに栽培したレモンが 1 個 80 円で販売されていました。ハウスにかけず農薬も使っていないため見た目は傷があるなど手に取りづらいですが、皮をむけば通常のレモンと変わらない。寧ろ海外から長い時間をかけて輸入されてくるものより安心感を得られる商品です。

お菓子の材料として卸をしても付加価値が出来るかもしれませんね、と園田さんとお話をして、ちょうど 12 月に鹿児島市内のマルヤガーデンズさんでクリスマスイベントに出店することが決まっていたのでその際に出すレモネードシロップを園田さんのレモンを使って作らせてもらうことにしました。



2. ちらん灯彩路に運営として参加しました



11/13(土)に開催された“ちらん灯彩路”で、当日のスタッフとして参加しました。武家屋敷通りに飾る灯籠につける絵は、地元の幼稚園・保育園・小学校の児童の皆さんに描いてもらうことで、それを見にやってくる家族まで集客のスコープとしている点は、これまでの自分には考えつかない新鮮な手法でした。

例年は出店・屋台の出店もあり、飲食ブースを目当てに来るお客さんも多いとのことでしたが、今年はコロナウイルス対策のために出店がなく、イベント開催地の周辺で経済が動く場所は多くない印象でした。

持続的な観光を考える上では「やってよかった」という定性的な評価に留まらず、普段お金が落ちない商圈にいかにキャッシュポイントを設けるかが重要だと考えています。

最近はキッチンカー・マルシェばかりがフォーカスされますが、その地域だから取り組める独自性を持った展開にはどのようなケースが考えられるのか、引き続き学び・取り組んでと思います。